

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-157338

(43)Date of publication of application : 13.06.2000

(51)Int.Cl.

A46B 9/06

A46B 9/04

A61C 17/00

(21)Application number : 11-114824

(71)Applicant : KAO CORP

(22)Date of filing : 22.04.1999

(72)Inventor : SUZUKI AKIRA
MAEDA AKITSUGU

(30)Priority

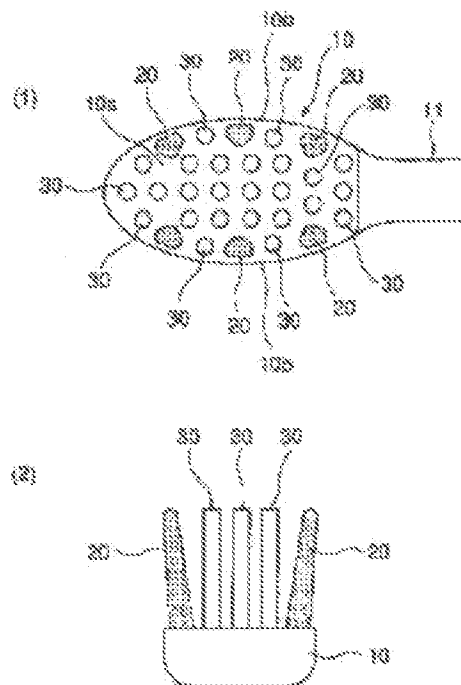
Priority number : 10271722 Priority date : 25.09.1998 Priority country : JP

(54) TOOTH BRUSH

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a high massage effect for the gum, especially its edge part and a dental papilla by planting a part of the longitudinal edge part of a bristle planted bed surface with rubber-like straight bar brush obliquely outward.

SOLUTION: Rubber-like straight bar brushes 20 with rounded tips are planted in the opposite longitudinal edges 10b of a bristle planted bed surface 10a of a bristle planted bed 10 connected to the forward end of a grip 11 with a gradient of about 10 outward from the longitudinal edge part 10b. The tip of the rubber-like straight bar brush 20 is arranged substantially on the same horizontal plane as the tip of a bristle bundle 30 planted in erect state in the bristle planted bed surface 10a. As the rubber-like straight bar brush 20 is a straight bar-like body not to be bent to the tip, the force is easily applied to the gum in any direction so as to obtain a high massage effect, and as it is inclined outward, it will not be an obstacle to the sordes removing action of the bristle bundle 30 planted in the bristle planted bed surface 10a. When the rubber-like



straight bar brush 20 projects over the bristle bundle 30, such effect for the edge of the gun and the dental papilla is further made excellent.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.08.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3308226

[Date of registration] 17.05.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-157338

(P2000-157338A)

(49) 公開日 平成12年6月13日 (2000.6.13)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	P I	ナニト (参考)
A 4 6 B 9/08		A 4 6 B 9/06	3 B 2 0 2
	9/04	9/04	
A 6 1 C 17/00		A 6 1 C 17/00	L

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 4 頁)

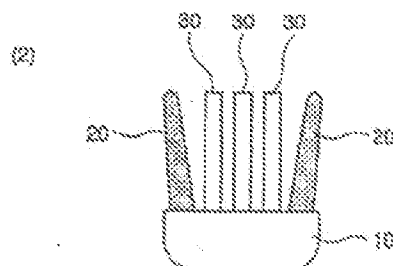
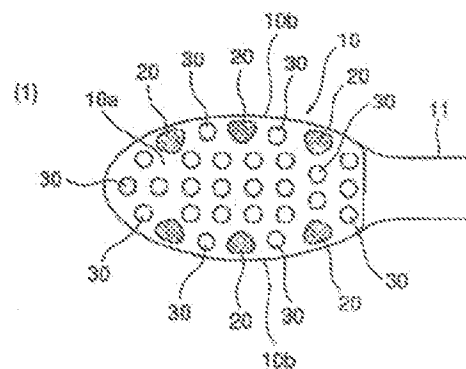
(21) 出願番号	特願平11-114824	(71) 出願人	000000818 花王株式会社 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号
(22) 出願日	平成11年4月22日 (1999.4.22)	(72) 発明者	鈴木 明 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会 社研究所内
(31) 優先権主張番号	特願平10-271722	(72) 発明者	約田 晃嗣 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会 社研究所内
(32) 優先日	平成10年9月25日 (1998.9.25)	(74) 代理人	100008700 弁護士 有賀 三幸 (外4名)
(33) 優先権主張国	日本 (J P)	Fターム (参考)	3B202 A400 A602 B402 E401 E403 E401 E406

(54) 【発明の名称】 歯ブラシ

(57) 【要約】

【課題】 歯垢の除去はもとより、歯ぐき、特にその辺縁部と乳頭部に対し、高いマッサージ効果が得られる歯ブラシの提供。

【解決手段】 歯毛台面の長手辺縁部の少なくとも一部に、ゴム様直線状剛子を外方向に傾斜せしめて積設；更にゴム様直線状剛子を刷毛束より突出せしめて積設；更にゴム様直線状剛子を刷毛束と交互に積設；ゴム様直線状剛子を刷毛束と交互に、かつ刷毛束より突出せしめて直立状態に積設。



【0013】而して、斯かる実施の形態によれば、ゴム横直棒状刷子20が先端部まで折曲していないストレートな棒状体であるので、何れの方角にも歯ぐきに力が加わり易く、高いマッサージ効果が得られると共に、外方向に傾斜しているので、植毛台面10aに植毛されている刷毛束30による歯垢除去作用の助けになることはない。

【0014】また、当該ゴム横直棒状刷子20は、植毛台10の内中央部に比し外周部に於て巾広となった略三角形の横断面形状を有しており、使用時に植毛台10の外周側にたわみ易いようになっている。更に、当該略三角形に於ける角部には適宜丸味が付与され、ソフトな接触感が得られるようになっている。

【0015】尚、ゴム横直棒状刷子20の材質としてはスチレン・ブタジエンゴム、エチレン・プロピレンゴム、シリコンゴム等のゴムあるいは合成樹脂等のその如何を問わず、また刷毛束30の材質としては天然毛あるいはナイロンやポリブチレンテレフタレート製等の人造毛等その如何を問わない。

【0016】図2は第2の実施の形態を示すもので、ゴム横直棒状刷子20の先端が、植毛台面10aに直立状態に植毛されている刷毛束30の先端より約2mm程度突出している以外は、図1に示す第1の実施の形態と同様に構成されている。すなわち、この実施の形態に於けるゴム横直棒状刷子20は、植毛台面10aの長手辺縁部10b外方向に傾斜し、かつ刷毛束30より突出して植設されている。

【0017】而して、斯かる実施の形態によれば、ゴム横直棒状刷子20が刷毛束30より突出しているため、歯ぐきの辺縁部と乳頭部に対する更に優れたマッサージ効果が得られる。

【0018】図3は第3の実施の形態を示すもので、ゴ

ム横直棒状刷子20が、植毛台面10aに傾斜せしめることなく直立状態に植設されている以外は、図2に示す第2の実施の形態と同様に構成されている。すなわち、この実施の形態に於けるゴム横直棒状刷子20は、刷毛束30と交互に、かつ刷毛束30の先端より突出せしめて直立状態に植設されている。

【0019】而して、斯かる実施の形態によれば、ゴム横直棒状刷子20が一ヶ所に集中することがなく、しかも刷毛束30より突出しているため、歯ぐきの辺縁部と乳頭部に対する優れたマッサージ効果が得られる。

【0020】

【発明の効果】本発明歯ブラシを用いれば、歯垢の除去はもとより、歯ぐき、特にその辺縁部と乳頭部に対する高いマッサージ効果を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明歯ブラシの第1の実施の形態を示すもので、(1)はその植毛台部の平面模式説明図、(2)は同左側面模式説明図。

【図2】本発明歯ブラシの第2の実施の形態を示すもので、(1)はその植毛台部の平面模式説明図、(2)は同左側面模式説明図。

【図3】本発明歯ブラシの第3の実施の形態を示すもので、(1)はその植毛台部の平面模式説明図、(2)は同左側面模式説明図。

【符号の説明】

10：植毛台

10a：植毛台面

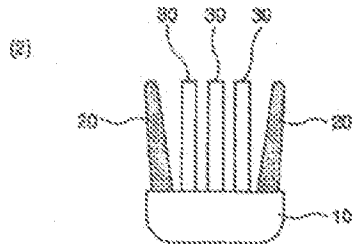
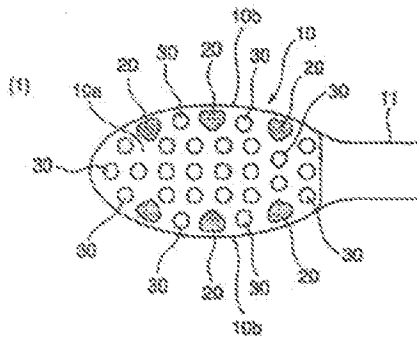
10b：長手辺縁部

11：柄部

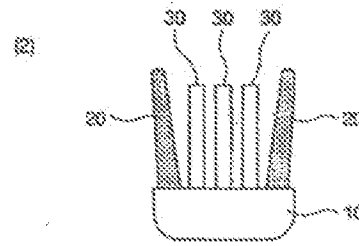
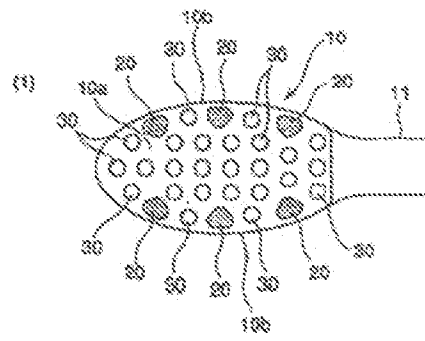
20：ゴム横直棒状刷子

30：刷毛束

【図1】



【図2】



【図3】

